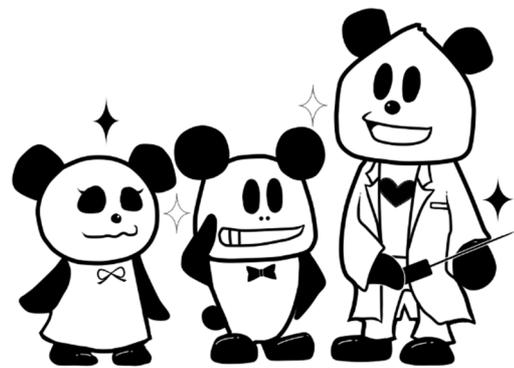


# たくし 沢岬イリヌカーの

はくつちょうさげんぼ  
発掘調査現場をのぞいてみよう！



ホル子ちゃん ハッツくん 先生



## 「沢岷イリヌカー」ってなあに？



むかし おきなわ やさい さかな こくおう さ あ てがた  
昔の沖縄で、野菜や魚などを国王に差し上げる「手形入れ」  
っていうお納め物があったんだよ。たくし というところでは、エ  
ビヤフナ、ウナギなどの食べ物た もの こくおう とつぜんたのを国王から突然頼まれることが  
おお 多かったから、そのために「たくし わきみず  
沢岷イリヌカー」という湧水でこ  
れらの生き物を飼っていたんだ。「たくし むかし  
の沖縄の「手形入れ」の様子を今に残している大切な場所で、  
みず つか かた まな だいじ ばしよ  
水の使い方について学ぶのにも大事な場所なんだ。だから、  
れいわ ねん がつ にち うらそえし たいせつ れきし ばしよ みと  
令和5年の4月7日には、浦添市の大切な歴史の場所として認  
められたんだよ。



## どうして調査ちょうさしてるの？



たくし 「沢岷イリヌカー」ってところは、じかん た かべ いし  
時間が経つにつれて壁の石  
たお が倒れかけたり、じめん しゅうり  
地面がデコボコになったりして修理しなきゃ  
いけなくなっただよ。だから、そこをもとどお しゅうり まえ  
たくさんじょうほう あつの情報を集めるために、今回、こんかい じめん ほ しら  
地面を掘って調べるん  
だよ。

## 沢岬イリヌカーはどんな造りなの？

 沢岬イリヌカーは、北と南の2つの部分からできてるんだ。まず、北側の部分には、「水溜」という水がたまる場所があるよ。

これは、琉球石灰岩という岩の下に、石を積み上げて造られてるんだ。その中には、水が出る穴が1つ空けてあるよ。次に、南側の部分には、「平場」という平らな場所があって、その左右も石を積み上げてあるんだ。このように沢岬イリヌカーは造られてるよ。

## 調査でどんなことが分かったの？

 【平場】

- 平らなところにあったセメントを取り除いて、水で洗ったら、上手に並べられた石が見えてきたよ。その様子から、沢岬イリヌカーはたくさんのおうぎがたの力をかって造られたことが分かったんだ。[写真1]
- 並べられた石の中には、扇形に並べられた石もあったよ。これは、水溜（北側）から道路（南側）の方へ石を並べていった

ひと 仕事 しごと ぶり を 示 して いる と 考 え ら れ る ん だ 。 [写 真 2]



### いしづみ 【石積】

ちょうさ はじ まえ ひがしがわ みぎがわ いし ざつ つ  
・調査を始める前、東側（右側）の石が雑に積まれていたから、

これは最近修正されたんだろうなとおもってたんだ。今回の

ちょうさ ざつ つ いし した つく とき いし なら  
調査で、雑に積まれた石の下に、むかし造られた時の石を並べ

た部分を見つけることができ、平場の造られた時の幅が分かっ

たんだよ。[写真3]

にしがわ ひだりがわ いし なら ぶぶん どうろ した つづ  
・西側（左側）の石を並べた部分が、道路の下へ続いているこ

とが分かったよ。平場は道路へ（南側）向かってもっと広が

っているみたいなんだ。[写真4]



### みずため 【水溜】

みずため なか どり と のそ いちばんした  
・水溜の中にたまった泥を取り除いたら、一番下に「クチャ」と

いう土があるのを見つけたよ。沖縄では、水が出る所はこの

「クチャ」と琉球石灰岩の境目にあることが多いんだよ。そ

して、この水溜も同じであることが確認できたんだ。[写真5]

みずため なか ちょうさ みずため ひらば したがわ む ほ  
・水溜の中を調査したら、水溜は平場の下側に向かって掘られて

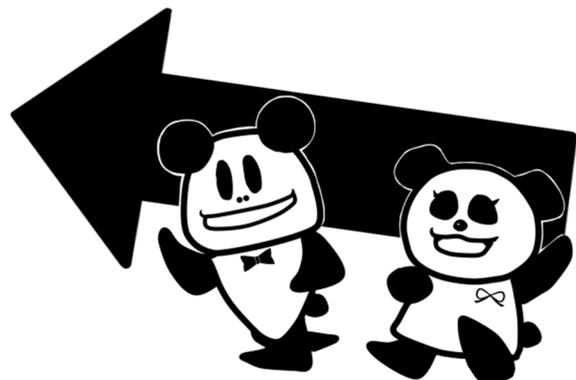
いることが分かったんだ。これは水溜にたくさん水を入れるた

めの工夫かもしれないね。[写真6]

- 水溜みずための中なかから出でてきたものは、大体だいたいが昭和しょうわ50年代ねんだい（1975年ねん頃ころ）以降いこうのものばかりだったんだ。「昭和しょうわ50年代ねんだい」とは、沖縄おきなわが日本にほんに戻もどった後あとのことだよ。その時ときに水溜みずための底そこをきれいにするために掃除そうじが行おこなわれたのかもしれないね。

## おわりに

今回こんかい、発掘調査はくつちようさできれいに並ならべられた石いしを見みつけるなど、大きなおおな発見はっけんがありました。沢岷たくしイリヌカーが今いまのように石いしで造つくられた時期じきについては出でてきた物ものを見みてこれから更さらに考かんがえることとなりますが、調査ちようさの途とちゆう中で600年まへほど前ちゆうごくに中国つくで作ちやわんられた茶碗はへんの破片みを見つけたことから、ここは古ふるくから、水みずを汲くむ場所ばしよとして使つかわれていたのかもしれない。[写真しゃしん7]



いしづみ ひがしがわ  
石積 (東側)

みずため  
水溜

ひらば  
平場

いしづみ にしがわ  
石積 (西側)





ちょうさまえ  
調査前



ちょうさご  
調査後



しゃしん おうぎがた なら いし てんせん  
写真2：扇形に並べられた石（点線）



しゃしん ざつ つ いし した み つく とき いし  
写真3：雑に積まれた石の下から見つかった、造られた時の石



しゃしん どうろ ひだりうえがわ した つづ いし  
写真4：道路（左上側）の下へと続く石



しゃしん みずため そこ み  
写真5：水溜の底で見つけた「クチャ」



しゃしん ひらば したがわ ほ みずため  
写真6：平場の下側へ掘られた水溜



しゃしん ねん まえ ちゅうごく つく ちゃわん はへん  
写真7：600年ほど前に中国で作られた茶碗の破片